

〈目標〉

1. 丸岡城国宝化に向けた気運を地域内外で醸成する。
2. 丸岡城周辺のまちづくりのビジョンをつくり、地域や行政と共有する。ビジョン実現に向け、計画しアクションをおこす。
3. 一般社団法人としての土台をつくり、自律した法人運営を目指す。

〈概要：事業の経過及びその成果〉

法人格を取得した第 1 期は、これまでの気運醸成の活動に加え、法人としての土台づくりと、丸岡城周辺のまちづくりについて考える「丸岡城周辺賑わいのまちづくりビジョン」をつくること主な取り組みとなった。

法人としての土台づくりは、旧市民の会の会員に法人格を取得した案内を出した他、当法人の体制と今後何をしていきたいかについて、理事長を中心に、区長会やまちづくり協議会連絡会議等折々の機会を通じて説明した。結果、区内全戸から賛助会員のご入会をいただいた区もあった。これらの取り組みによって、当法人への理解と協力を少しずつ得る事ができたと感じているが、住民との信頼関係を強くし、多くの方々に興味と理解をいただけるよう、より一層の努力が必要だと考えている。

第 1 期の主要な取り組みとしては、「丸岡城周辺賑わいのまちづくりビジョン」の策定をあげることができる。丸岡城天守を守りながら、私たち住民の暮らしをより楽しく豊かにしていくために、観光まちづくりに力を入れていくことをビジョン策定の目的として取り組んだ。今後多くの方々と共有していきたい 50 年後の将来像、将来像の実現に向けた今後 10 年間のまちづくりの基本方針、基本方針に基づいて今後 5 年間で着手したい各施策について、江川誠一座長のもと、21 名のメンバーでワーキンググループをつくり、ビジョンづくりを進め、完成させることができた。第 2 期以降では、住民へのビジョンの PR、各施策の着手に向け具体的に進めていきたい。

気運醸成の取り組みについては、住民への情報発信に注力し、フリーペーパーの発行、丸岡城無料登城の特典がついた会員証の発行、荒田太吉氏にフォーカスさせた取り組み等を実施することができた。この他、丸岡を対外的に発信していくために丸岡人インタビューをウェブサイトで開催するなど、いくつかの新しい試みを実施することができた。

第 2 期では、丸岡町外の会員増、情報発信にも力を注いでいきたい。

〈事業〉

1. 丸岡城国宝化に向けた気運醸成（丸岡城天守を国宝にする市民の会事業）

①ポロシャツの製作（通年）

- ・ ポロシャツ 100 枚を増販。イベント等で着用し、丸岡城及び丸岡城国宝化、そして当法人ついてアピールした。
- ・ 誰でも着用できるよう、一筆啓上茶屋に管理等を委託した。

②社団法人化に伴う会員への告知（8月）

- ・ 法人化に伴い、約 1,000 者の会員に向け組織変更のお知らせをハガキにて送った。

③ウェブサイトコンテンツ「丸岡人インタビュー」 5名（9月～3月）

- ・ 丸岡城とその周辺のまちづくりの取り組みを広く発信していくため、当法人ウェブサイト新しく丸岡人インタビューコーナーを設置した。丸岡城に関連する取り組みをしている魅力ある人々をその活動と共に紹介・発信した。
www.maruoka-kanko.org/simin/interview/

④七夕星の市（7/1）

- ・ 七夕まつり実行委員会が実施した「七夕星の市」へ協力支援した。

⑤フリーペーパー瓦版 2回発行（9月、3月）

- ・ 住民に対して丸岡城及び市民の会の活動について PR していくための情報発信として、フリーペーパーを 2回発行した。1回目は丸岡町内、2回目は坂井市内に全戸配付した。

⑥荒田太吉を讃える会の開催（10/6）

- ・ 荒田太吉氏の令孫、荒田一正氏を丸岡城天守にお迎えし、荒田太吉氏の功績を知り感謝することを目的とした会を開催した。平章小学校 5 年生による校歌斉唱と歓迎挨拶、丸岡高校放送部による紙芝居「荒田太吉物語」の読み聞かせ、記念撮影、ボランティアガイドによる丸岡城と周辺散策、昼食交流会を行った。

⑦丸岡古城まつりシール製作（10/8）

- ・ 丸岡古城まつりの市民パレードに参加した。市民パレード参加者へ振る舞ったお餅に、丸岡城と国宝化をPRするシールを製作し貼った。

⑧福井丸岡 RUCK 横断幕（12月）

- ・ 福井丸岡 RUCK の第14回全日本女子フットサル選手権での優勝を記念し、祝賀横断幕を製作し、ふれあい広場、8号線沿いJAに掲げた。

⑨お天守の床みがき（12月）

- ・ 平章小学校5年生によるお天守の床みがき（歴史学習会）の受け入れ支援を実施した。

⑩一般社団法人水口岡山城の会との交流会（2/24）

- ・ 水口岡山城の会（滋賀県）が丸岡城天守を訪れた際に交流会を開催した。双方の活動報告の後、意見交換会を行った。

⑪会員証の発行（3月）

- ・ 会員である証と、今後のイベント等での会員に向けたインセンティブの土台づくりのために会員証を制作し発行した。会員証には、公益財団法人丸岡文化財団の協力をいただき、丸岡城無料登城の特典を盛り込むことができた。

⑫丸岡城周辺賑わいのまちづくりビジョン概要版の印刷（3月）

- ・ ビジョン概要版を12,000部印刷した。第2期に丸岡町内へ全戸配付（2018年5月頃を予定）、坂井市内の各観光・まちづくり団体、コミュニティセンターなどへ送付する予定である。

⑬丸岡城桜まつりボンボリ広告（3月）

- ・ 丸岡城桜まつりを盛り上げるためボンボリの協賛協力をした。

2. 丸岡城周辺賑わいのまちづくりビジョンの策定（丸岡城周辺まちづくりビジョン策定事業）（8月～3月）

- ・ 後世に残していくべき宝（文化財）としての丸岡城の維持・保存と、それを活用した観光まちづくりを共存させ、お天守の魅力や価値を高めると共に、私たち住民の暮らしをより良く豊かにしていくための拠り所になるものとして、丸岡城周辺賑わいのまちづくりビジョンを策定した。

- ・ 策定のプロセスについては、丸岡城周辺まちづくりビジョンワーキンググループ（21名＋坂井市各課室オブザーバー）を立ち上げ進めた。座長は、江川誠一先生（福井県立大学 地域経済研究所 講師）が務めた。ワーキンググループは9回開催。1～5回目ではたたき台資料を基に議論するなどのワークショップを中心に進め、6～7回目はビジョン素案による議論、8～9回目でビジョン完成に向けて最終的なとりまとめをおこない、理事会の承認を経て完成させた。
- ・ ワーキンググループ各回のテーマと参加者数（オブザーバー除く）は次のとおり。

1回目（8/25）	19名	ビジョン策定にあたっての基本方針について 丸岡城及びその周辺の魅力と課題について 丸岡しろの会要望書の共有
2回目（9/4）	13名	実現したい将来の姿について
3回目（9/20）	12名	ビジョンの理念、基本方針、目標について
4回目（10/5）	14名	アクションプランアイデアについてⅠ
5回目（10/18）	13名	アクションプランアイデアについてⅡ
6回目（12/7）	11名	ビジョン素案初稿について
7回目（1/11）	11名	ビジョン素案第2稿について
8回目（2/22）	14名	ビジョン案について
9回目（3/8）	14名	ビジョン案について

- ・ 成果物は完全版冊子 100冊及びPDFデータ、概要版PDFデータ。PDFデータは下記ウェブサイトよりダウンロードできるよう整えた。

<http://www.maruoka-kanko.org/simin/vision>

3. 法人運営

- ・ 理事会を11回開催し、事業推進の議論と決議、事業進捗共有、正会員の承認等を行い、法人運営を行った。
- ・ 理事会開催日は次のとおり。
4/21、5/25、7/5、8/2、9/6、10/4、11/8、12/6、1/10、2/21、3/14
(※4/21は法人設立のために法人設立日より前に開催した)
- ・ 理事長が中心となり、丸岡町内の住民や町内会に声かけをし、賛助会員への加入を広く募った。
- ・ ウェブサイトを一般社団法人用に修正し、会員の募集等をウェブサイトから行えるようにした。
- ・ 固定電話、インターネットを導入し、事務所機能を整えた。